

吉本隆明全著作集

15

初期作品集

勁草書房

吉本隆明全著作集 15

昭和四九年五月二〇日第一刷発行
昭和五一年二月二〇日第二刷発行

著 者 吉本隆明

発行者 井村寿二

発行所 勁草書房

〔東京都文京区後楽二の二三の一五
電話番号東京八一四局六八六一 郵
便番号一一二 振替口座東京五一
七五二五三番〕

印刷所 精興社

製本所 青木製本

* 定価は外函に表示してあります。

© 1974 by Takaaki Yoshimoto

目

次

第Ⅰ部

Ⅰ 少年期

随想	六
相对性原理漫谈(二)	八
孔丘と老聃	二一
「哲」の歌	二八
くものいと	元
うら盆	元
冬	二〇

Ⅱ 米沢時代

卷頭言	三
無方針	三
朝貌	二六
郷愁	二六
序詞	二七

III 草莽

序詞	三〇
謹悼義靖院衝天武烈居士	三〇
原子番号〇番	三一
原子番号一番	三三
原子番号二番	三五
原子番号三番	三六
機械	四一
秋の花	四二
かぶと山と虚妄列車	四三
銀河と東北	四三
撩乱と春	四五
無神論	四六
続呼子	四七
親鸞和讃	五〇
背棄	五一

雲と風と鳶……………三

明暗……………三

草ふかき祈り……………五

帰命……………六

IV 哀しき人々

哀しき人々……………六

雲と花との告別……………六

第II部

I 姉の死など

姉の死など……………六

II 覚書I

一九四四年晩夏……………七

夕ぐれと夜との独白（一九五〇年I）……………七

III 箴言I

序章……………八

エリアンの感想の断片 八五

△建築についてのノートⅤ 九三

風の章 九四

形而上学ニツイテノNOTE 九九

下町 一〇六

△少年と少女へのノートⅤ 一一〇

△老人と少女のゐた説話Ⅴの構想Ⅰ 一二七

△夕ぐれと夜との言葉Ⅴ 一二七

△春の嵐Ⅴ 一二九

原理の照明 一二〇

△夕ぐれと夜という言葉Ⅴ 一二三

中世との共在 一二四

△夕ぐれと夜という言葉Ⅴ 一二六

△夕ぐれと夜との言葉Ⅴ 一二七

△老人と少女のゐる説話Ⅴ 一二八

△老人と少女のゐる説話Ⅴ 一二九

秩序の構造	一四〇
方法的制覇	一四二
△老人と少女のゐる説話Ⅳ	一四三
カール・マルクス小影	一四四
△老人と少女のゐる説話Ⅴ	一四五
忘却の価値について	一四六
△思考の体操の基本的な型についてⅤ	一四八
芸術家について	一五〇
△老人と少女のゐる説話Ⅵ	一五一
△夕ぐれと夜との言葉Ⅴ	一五三

IV 箴言Ⅱ

断想Ⅰ	一五四
△僕の歴史的な現実に対するいら立ちの解析Ⅴ	一五五
断想Ⅱ	一五六
△不幸の形而上学的註Ⅴ	一五八

△虚無についてV	一五
断想Ⅲ	一六
断想Ⅳ	一七
断想Ⅴ	一八
△方法についてV	一九
断想Ⅵ	二〇
△詩集序文のためのノートV	二一
断想Ⅶ	二二
△批評の原則についての註V	二三
△現代の倫理的構造についての考察V	二五
△寂寥についての註V	二六
断想Ⅷ	二七
第二詩集の序詞	二八

V 無門関研究

無門関研究	二八
-------	----

VI 短歌

短歌四首		一八六
------	-------	-----

VII 時禱詩集

詩作における事象の取扱について

習作四（宝塔）		一八八
習作五（風笛）		一九〇
習作七（餓葦地域）		一九一
習作九（挽歌）		一九三
習作十四（所惑）		一九五
習作十五（夕日と夕雲の詩）		一九七
習作廿四（米沢市）		一九八
童子像		二〇〇
習作四十三（愛歎）		二〇〇
習作五十（河原）		二〇一
習作五十一（松川幻想）		二〇二

序跋一束	104
------	-----

VIII 詩集

詩三章

老白	108
----	-----

觀花	108
----	-----

哀辭	109
----	-----

巡礼歌	110
-----	-----

幻想的習作	111
-------	-----

錯倒	113
----	-----

青い帽子の詩	116
--------	-----

第III部

I 詩碑を訪れて

詩碑を訪れて	110
--------	-----

イギリス海岸の歌	114
----------	-----

雲の信号	115
------	-----

「宮沢賢治と女性」雑考……………二七七

セロ弾きのゴーシュ……………二三八

やまなし……………二三七

ざしき童子のはなし……………二四三

よだかの星……………二四四

雁の童子……………二四七

風の又三郎……………二四九

農民芸術概論綱要評……………二五一

〔科学者の道〕……………二五五

くらかけ山の雪……………二五八

II 宮沢賢治序叙草稿第四

孤独と風童……………二七六

宮沢賢治童話論……………二七六

四 地人時代後期……………二八四

III 宮沢賢治序叙草稿第五

続四雜録	三三四
------	-----

IV 宮沢賢治論

宮沢賢治の倫理について	三四〇
宮沢賢治の系譜について	三五五
異常感覚感の由来について	三六三
宮沢詩学の解析について	三七九
深淵の思ひ	三九二
或る孤高の生涯	四〇四
創造と宿命	四一三
孤独と神秘とユーモア	四一九
再び宮沢賢治の系譜について	四二四
宮沢賢治の散文について	四三三

第IV部

北村透谷小論〔断片I〕	四三七
北村透谷小論〔断片II〕	四四〇

△現代詩の情況Ⅴ〔断片〕	四四四
過去についての自註	四四五
『初期ノート』増補版のための覚書	四六九
全著作集のためのメモ	四七一
解題	四七三

初期作品集

吉本隆明全著作集

15

